

キャリア教育講演会

平成22年3月19日(金) 11時～12時10分

1・2年生を対象にしたキャリア教育講演会が、大講堂・合併教室・社会科教室など8つの会場に分かれて行われました。

これは、「総合的な学習」における進路学習の一環として行われるもので、講師は、主に今年の当番学年から推薦していただいた同窓生の方々です。生徒達は、それぞれ自分の興味ある分野を選んで講演を聴きました。



講師の方々は、自分の携わる仕事や学問についてだけでなく、グローバルな物の見方や雑学、迷いや挫折、紆余曲折後に学び取ったことなどを率直に語られました。生徒達の感想の中には、「現場を具体的にイメージできた」「迷っていたが勇気をもって決断できそうだ」というものや、「人生の奥深さに触れて感動した」「自分を反省した」というものもあり、大変有意義な講演会となりました。



OB講師の紹介と講演内容 (卒年順)

大森 礼子 (昭和43年卒)	弁護士	「OLが検事、国会議員、弁護士になった理由(わけ)」
板野 和彦 (昭和46年卒)	国際石油開発帝石(株)執行役員	「石油・天然ガス資源の開発を巡る国際競争—環境問題とエネルギー・シフトを視野に入れて」
荻野 哲也 (昭和53年卒)	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科講師	「病理医として、研究者として」
新山 眞弓 (昭和53年卒)	兵庫教育大学大学院学校教育研究科(体育・芸術教育学系)准教授	「学は光」 一人は何のために学ぶのか—
中堀 智之 (昭和63年卒)	岡山大学医学部医学科技術職員	「脳を科学する方法」
村田 博明 (平成10年卒)	一等航空整備士	「10年後の未来の自分」
小堀 裕也 (平成10年卒)	放送作家	「放送作家の見たテレビの裏側・作り方」
田中恵梨子 (平成15年卒)	心臓病センター榊原病院薬剤師	「薬学部及び薬剤師について、今の私が伝えられること」

ダンスで一致団結

全国高等学校ダンスドリル選手権大会リリカル部門に2年連続出場、今年1月の全国高校ダンスドリル新人大会では第2位という成績を収めたダンス部を取材した。ダンス部は2年生12名、1年生13名からなる元気で明るい女の子達の集団。経験者・未経験者が混



H22.6.6 中四国予選会

在しているにもかかわらずチームワークが抜群。キャプテンの神頭生風里さんと副キャプテンの小松原早織さん(共に2年生)に「大会での目標は？」と聞くと、「順位よりこのメンバーでダンスができる時間を大切にしたい」「今のメンバーで悔いを残したくない」との言葉が返ってきた。仲間との絆を大切に的一面が、きつと強さの秘密ではないだろうか。

普段の練習は、基礎から始まり大会・行事に合わせて表現作品・ヒップホップ・ジャズなどを時期ごとに踊り分けているそうだ。練



習が始まると、真剣な表情で汗を流しながら軽やかに踊るダンサーに変身し、振りや動きを自分達で確認し限られた時間の中で努力を重ねてきた。

今回の大会で出場したりリカル部門は、クラシックバレエ・モダンダンスのテクニクとリリカル(叙情的)であることが求められるものだ。つまり表現の豊かさが最も重要となり、普段の練習がここに生きている。

今後、楽しく時には厳しく一致団結して頑張っていくダンス部に注目していきたい。



第二回朝日、高松、鳥取西(旧制一中)野球部定期戦

平成二十二年八月十日に岡山県営球場で第一回の野球部の三校定期戦を行いました。

今までも鳥取に行って、鳥取西高校との練習試合や、香川に行つて高松高校との練習試合は毎年のように行っていました。



そこで、せっかく文武両道を目指す伝統校同士なので定期戦にしてはどうかという話が持ち上がりました。高松高校、鳥取西高校に了解をいただき本年度から行うことが決まりました。

開会行事では本校校長のあいさつの後、本校野球部OB会の古南禎三会長に始球式をしていただきました。また、第二試合の高松と鳥取西の試合前には、「岡山朝日高

校を甲子園に送り出す会」の高祖日出夫会長から岡山に来ていただいたお礼や激励の言葉がありました。

第一試合は11-6で朝日が高松に、第二試合は10-1で高松が鳥取西に、第三試合は7-2で朝日が鳥取西にそれぞれ勝利し、朝日が初代優秀賞をいただきました。



(野球部顧問 大口正行)